

三枝理恵子氏の著「人間力のある人はなぜ陰徳を積むのか」を再読中です。
第2章「外国人が日本に学ぶ12の徳」のところから、次の文章を紹介します。

「人を慮るには、自分の心を深く探る必要があります。自分の心もわからない人は、他人の心を察することができないからです。自己探求は常に必要です。」

「原因を『他責』にしているのは変化望めないでしょう。WEの次元に入るには、たとえ理不尽であってもすべて身から出たさび、自分の責任だと考える『自責』の習慣を持つことが不可欠です。」

WEの次元に入り、自責の念を大事にしたいです。